

2018年6月12日
株式会社東陽テクニカ

**世界初！400GbE & 100GbE 対応コアルータの性能を
パフォーマンステストで実証する“異速度インターワークライブデモ”を
Interop Tokyo 2018 で公開
～現行コアネットワークへの 400GbE 技術導入を加速～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、通信・IT 関連測定器のリーディングカンパニーである Spirent Communications Inc.（本社：アメリカ カリフォルニア州サンノゼ、以下 Spirent 社）の新ラインアップである IP パフォーマンステストツール「Spirent TestCenter 400G/200G/100G/50G Ethernet マルチレートテストモジュール」を 2018 年 2 月より販売しています。

今回、6 月 13 日（水）より幕張メッセで開催される“Interop Tokyo 2018”^{※1}において、本テストモジュールと、ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社（以下 NOKIA 社）が発売する 400 ギガ & 100 ギガビットイーサネット対応コアルータ「NOKIA 7950 XRS」とを、400GbE ならびに 100GbE の異速度でインターワーク接続し性能を実証する共同ライブデモンストレーションを、世界で初めて^{※2} 披露いたします。この共同ライブデモンストレーションは、100GbE を中心に構成されている現行コアネットワークへの 400GbE 技術の導入を加速させ、日本のインターネットの高速化に貢献する歴史的なイベントとなります。

なお、東陽テクニカは Spirent 社の国内総代理店であり、今回の「Spirent TestCenter 400G/200G/100G/50G Ethernet マルチレートテストモジュール」は Interop Tokyo 2018 “Best of Show Award”の測定部門で Finalist としてノミネートされております。



Spirent TestCenter
400G/200G/100G/50G Ethernet マルチレートテストモジュール
(QSFP-DD 対応版)

現在、サービスプロバイダーの基幹ネットワークやデータセンターでは、100GbE のネットワーク機器が数多く採用され、増え続けるデータトラフィックの処理を支えています。一方で、IoT や M2M^{※3} など従来の通信機器以外のデバイスがネットワークに繋がり情報がやり取りされる時代になり、回線スピードの増強はますます必要とされています。製品開発の分野では、その次のハイスピードとなる 400GbE への準備が着々と進められていて、さらに、400GbE は米国電気電子学会（IEEE）P802.3bs タスクフォースで技術仕様化が完了し、本格的な実用に向けて、各社の製品リリースがいよいよ始まろうとしています。

今回のように実機を用いて 400GbE & 100GbE 対応コアルータの性能実証を行うことは、400GbE の実現性を示すと同時に、100GbE を中心に構成されている現行コアネットワークへの 400GbE 技術の導入を大きく加速させます。

【 デモンストレーション概要 】

“Interop Tokyo 2018”の東陽テクニカ/Spirent 社ブース（ブース番号：5Z03）において、Spirent 社「Spirent TestCenter 400G/200G/100G/50G Ethernet マルチレートテストモジュール」と NOKIA 社コアルータ「NOKIA 7950 XRS」を動態展示し、400GbE & 100GbE の異速度インターワーク接続で、回線に対して 100%フルレートのトラフィックが送受信される様子を披露します。

このような最先端技術の性能実測は、通常は非公開で行われ、結果が公表されることはありません。今回のように、展示会という公の場で行う“異速度インターワーク接続のライブデモ”は、世界初の試みです。

<コメント>

ノキアソリューションズ&ネットワークス合同会社 IP ルーティング本部長 鹿志村 康生氏

「このたびの共同ライブデモンストレーションを通じて、NOKIA 社の最新のネットワークプロセッサである FP4 が搭載されたコアルータの性能を Spirent 社のテストで実証し、既に実用の域に達していることをご紹介できることを嬉しく思います。」

【 製品の主な特長 】

「Spirent TestCenter」は様々なネットワーク性能測定を 1 台で実現する次世代型 IP パフォーマンステストです。スイッチ・ルータのデータパフォーマンス測定だけでなく、プロトコルエミュレーションのスケールテストも同時に行うことができます。本テストモジュールは Spirent TestCenter のラインアップの一つで、400G/200G/100G/50G イーサネットに 1 枚で対応できる製品です。

- CFP8, QSFP-DD, OSFP インタフェースを採用した 2 ポート テストモジュール
- 光ファイバおよび DAC/AOC 接続をサポート
- 最大 4 種類のイーサネットスピードに対応
 - ・PX3-400GQ-T2, DX3-400GQ-T2（QSFP-DD 対応：400G/200G/100G/50G イーサネット）
 - ・PX3-400GQ-P2, DX3-400GQ-P2（CFP8 対応：400G/200G/100G/50G イーサネット）
- リザーブはイーサネットポート単位、スピード切替えは CFP8/QSFP-DD/OSFP ポート単位

【製品データ】

- 製品名：「Spirent TestCenter 400G/200G/100G/50G Ethernet マルチレートテストモジュール」
- 販売開始：2018年2月

【 ShowNet^{※4}にコントリビュータとして参加 】

東陽テクニカは Interop Tokyo のブース出展（ブース番号：5Z03）だけではなく、ShowNet に毎年コントリビュータとして参加しています。ShowNet とは出展各社から提供される様々な機器を相互接続して幕張メッセ イベント会場に構築される巨大なネットワークで、「最新の機器群を」「最新の技法で」組み上げることで来場者にトレンドを伝えることを目的としたプロジェクトです。東陽テクニカは主に完成したネットワークの性能検証をサポートしており、「Spirent TestCenter」は安定した ShowNet を構築するための必須ツールです。

東陽テクニカは、今後も通信サービスを提供する通信事業者やサービスプロバイダーおよび通信機器製造業者向け負荷測定器の提供を通じ、通信サービスの高速化と品質の向上に貢献してまいります。

※1 「Interop Tokyo 2018」

会期：2018年6月13日（水）～6月15日（金）

会場：幕張メッセ

公式サイト：<http://www.interop.jp/2018/>

※2 400G & 100GbE 対応コアルータの性能をパフォーマンステストで実証する“異速度インターワーク”公開デモンストレーションとして。2018年6月現在。東陽テクニカ調べ。

※3 Machine-to-Machineの略称。コンピュータネットワークに繋がれた機械同士が人間を介せず相互に情報交換し、自動的に最適な制御が行われるシステム。

※4 ShowNetとは、幕張メッセイベント会場に構築されるライブネットワークの総称。

公式サイト：<https://www.interop.jp/2018/shownet/#02>

<Spirent Communications Inc.について>

Spirent Communications 社（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ）は、IT・通信業で用いられる最新の技術、インフラストラクチャ、アプリケーションを評価するための先進的な測定器、測定手法を開発・提供しています。研究開発ラボおよび通信事業者、通信機器製造会社、一般企業の IT 部門など全世界で幅広く使用され、リーディングカンパニーとして長年通信事業の品質向上に貢献しています。同社のソリューションによって 400G イーサネット、LTE/無線 LAN/衛星通信、NFV/クラウド、IoT/M2M、セキュリティなど、IT・通信に関わるあらゆる観点での性能・品質確認が可能になります。東陽テクニカは同社の国内における総代理店です。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC（電磁波障害）試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、メディカルなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。

また、2016～2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジー・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI（人工知能）を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

東陽テクニカは「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ

情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250（直通）

E-mail：ict_contact@toyo.co.jp

「Spirent TestCenter 400G/200G/100G/50G Ethernet マルチレートテストモジュール」：

<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/testcenter.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。